

資料3

令和元年度「南区復興支援自治推進事業」実績報告

(千円)

災害公営住宅交流支援		予算額
(26)	災害公営住宅入居者交流支援	3,000
コミュニティ形成支援		予算額
(27)	復興版地域コミュニティづくり支援補助金	2,000
(28)	地域コミュニティ形成・強化支援	1,200
(29)	富合町井樋堰報告書作成	1,500
防災・減災		予算額
(30)	地域防災力強化	1,626
賑わい創出		予算額
(31)	復興賑わいづくり支援助成	1,800
健康・子育て支援		予算額
(32)	被災者健康・子育て支援	874
合計		12,000

26 災害公営住宅入居者交流支援

目的

- ◆災害公営住宅入居者が互いに支えあえる関係性の構築を図る

内容

◆交流会の開催

- ・塚原団地：令和元年8月4日（54名）
自治会との共催によりボウリング大会を実施
- ・舞原団地：令和元年8月31日（64名）
（第1・第2） 昼食バイキングや石鹸デコレーションを実施
- ・白藤団地：令和元年12月22日（100名）
自治会定例行事であった餅つき大会を共同で実施
- ・舞原第3団地：令和2年1月19日（67名）
昼食バイキングやマイ箸づくり体験等を実施



◆サロンの開催

- ・塚原団地：5回
- ・舞原第1団地：2回 ※3回開催予定であったが、コロナにより1回中止
- ・舞原第2団地：3回
- ・舞原第3団地：0回 ※1回開催予定であったが、コロナにより中止
- ・白藤団地：0回 ※2回開催予定であったが、コロナにより中止

◆交流促進のための環境整備

- ・各災害公営住宅交流会で使うテーブルやイス等の設置

27 復興版地域コミュニティづくり支援補助金

目的

- ◆地域の課題解決に向けた取り組みの推進
- ◆地域コミュニティの活性化

内容

- ◆自治会等をはじめとした地域団体等が行う、地域コミュニティ形成や地域の防災・減災に資する地域の自主的な活動に対する助成
- ◆補助対象団体：校区自治協議会及びその構成団体、町内自治会
- ◆補助金：事業費の1/2（25千円以上300千円以内）

<申請団体> 11団体

<申請総額> 1,965千円（総事業費：3,955千円）

<採択件数> 11団体

<採択金額> 1,965千円

<採択事業> ・世代間交流事業 & 今町夏祭り（飽田東校区第2町内自治会）
・復興支援 白藤町夏まつり（力合校区第4町内自治会）
・第1回隈庄校区震災復興祭（隈庄校区自治協議会） ほか

28 地域コミュニティ再生・強化支援経費

目的

- ◆地域コミュニティの場の復活と再生
- ◆コミュニティのつながりの強化
- ◆復興に向けた住民組織運営支援モデル事業として、熊本地震による被害が大きかった城南町土鹿野地区の地域住民が中心となり、熊本県立大学と連携し、地域の復興の取組みを支援する事業を実施
- ◆フィールドワークやワークショップ、地域住民の交流の場としての「土鹿野食堂」の開催、そして被災地同志の勉強会の参加や益城町、朝倉市への視察等を行った

内容



◆意見交換会等

- 4/27 第2回復興熊本会議において土鹿野地区の取り組みの発表及び意見交換
- 6/13 県大柴田研、熊大田中研合同ゼミとのフィールドワーク及びワークショップ
- 1/21 「20年後の土鹿野を考える」学生報告会及びワークショップ

◆イベント等準備・支援

- 6/15 土鹿野サロン（毎月第2土）
- 7/27 土鹿野食堂開催（9/28、12/1、2/1）

◆先進地視察

- 5/24 益城町東無田地区「東無田食堂」活動の視察
- 2/24 朝倉市視察

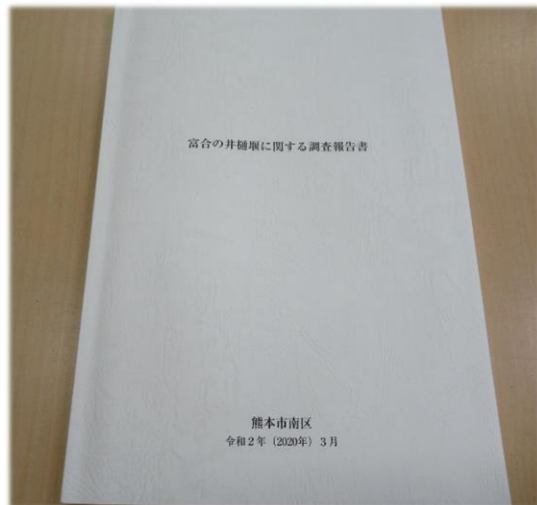
29 富合町井樋堰報告書作成

目的

- ◆ 地域課題の解決
- ◆ 地域の文化的財産を後世に語り継ぐこと

内容

- ◆ 旧富合町において有形文化財に指定されていた、石造りの水門「井樋堰（いびげき）」は熊本地震により崩壊
- ◆ 「井樋堰」の歴史的背景や機能、調査内容を調査報告書として記録し、400年地元で大切に守り維持されていた貴重な土木遺産を次世代に伝承する。自治会・井樋橋いかそう市民の会、南区管内小中学校、市立図書館、県内文化財関係課等へ配布した。



30 地域防災力強化経費

目的

- ◆防災意識の向上
- ◆地域の災害対応力の強化

内容

- ◆南区避難所担当職員を対象とした防災士等による避難所運営等の研修会を実施
 - 第1回：令和元年6月13日（38人）
 - 第2回：令和元年8月30日（48人）
 - 第3回：令和元年10月11日（52人）
 - 第4回：令和元年12月20日（71人）
- ◆各校区・町内で開催される避難訓練や防災講座等において活用するための防災グッズ（ヘルメット）を作成
- ◆避難所運営を全般として、研修会、訓練及び実災害で活用する防災テント、プロジェクターの購入

31 復興賑わいづくり支援助成

目的

- ◆地域コミュニティの形成支援

内容

- ◆自治会等をはじめとした地域団体が行う、復興に資する賑わい創出のための事業やイベント等に対する助成

対 象：校区自治協議会及びその構成団体、地域団体等
補助上限：200千円
補 助 率：1/2

<申請団体> 11団体

<申請総額> 1,622千円(総事業費:8,159千円)

<採択件数> 11団体

<採択金額> 1,622千円

<採択事業> ・とみあいサマーフェスティバル(富合校区自治協議会)
・第16回みゆきの夏まつり(御幸校区自治協議会)
・復興祭イン今ふれあい交流会(今ふれあい交流会) ほか

32 被災者健康・子育て支援経費

目的

- ◆被災者の健康維持
- ◆子育ての不安等の解消



内容

■歯と口の健康づくり支援事業

健康センター城南分室や災害公営住宅集会所等において、歯科相談、化粧療法を活用した口腔ケア教室、スポーツ吹矢体験及び8020推進員による啓発を実施 合計5回 123名

■子育て支援リーダー養成事業

①子育て支援リーダーの養成

(ホームスタートジャパンのオーガナイザー養成講座への派遣)

養成人数:2名

②養成した子育て支援リーダーによる研修会の開催

日時:R2.1.29

内容:日頃の活動に役立つ「傾聴」について

参加:37名

(民生児童委員、主任児童委員を対象)

